

日本女子大 研究者向け病児保育 NPO法人と提携

朝、子供が熱を出した
場合などに、フロレン
スの「こどもレスキュー
隊員」と呼ぶスタッフが
研究者宅へ赴く。隊員は
子供をかかりつけの医師
へ連れていき、研究者の
自宅などで世話をする。
その間、研究者は大学の
業務に専念できる。

研究者はフロレンス
に毎月一万円以上の会費
を払うが、大学がこの一
部を補助する。子供を預
けた場合、一カ月のうち
一回目は無料で、二回目
以降は一時間当たり千円
かかる。

フロレンスは東京都
内でリクルートなどの社
員に、病児保育サービ
スを提供してきた。これ
まで延べ一千人の子供を
預かった実績がある。

日本女子大学は特定非
営利活動法人（NPO法
人）のフロレンス（東
京・中央）と提携し、同
女子大の研究者向けに病
児保育サービスの提供を
始めた。女性研究者の子
供が病気になった場合、
フロレンスの専門スタ
ッフが代わりに子供の面
倒をみてくれる。子育て
中の女性研究者が働きや
すい環境を整え、優秀な
人材を確保する。